

株式会社 クリエイト SD ホールディングス



2017年5月期 第2四半期 決算説明会

2017年1月13日

本資料に掲載しております業績予想は現時点における事業環境に基づくものであり、今後様々な要因によって予想と実際の業績が異なる可能性があります。あらかじめ御承知おきくださいますようお願い申し上げます。
お問い合わせ先 経営企画部:笠井・田村(TEL 045-914-8241)

2017年5月期 第2四半期 決算説明会

■2017年5月期 第2四半期累計 連結実績

1. 損益計算書
2. 貸借対照表
3. キャッシュ・フロー計算書

■事業会社の実績

1. 損益計算書
2. 出店
3. 顧客ニーズに合わせた品揃えと機能の追加
4. 売上高
5. 部門別 売上高
6. 調剤部門
7. 売上総利益率
8. 販管費率
9. 生産性向上の取組み
10. 介護関連事業

■下期の取組み

1. 出店
2. 顧客ニーズに合わせた品揃えと機能の追加
3. 生産性向上の取組み
4. 調剤薬局の取組み
5. 2017年5月期の計画

2017年5月期 第2四半期累計 連結実績

1. 2017年5月期 第2四半期累計のPL(連結)

	2016.5期 第2四半期累計 実績 (連結)		2017.5期 第2四半期累計 実績 (連結)			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)
売 上 高	113,721	100.0	121,549	100.0	106.9	100.1
売上総利益	30,885	27.2	33,421	27.5	108.2	101.4
販売管理費	24,154	21.2	26,327	21.7	109.0	101.1
営業利益	6,731	5.9	7,093	5.8	105.4	102.5
経常利益	6,933	6.1	7,249	6.0	104.6	102.5
四半期純利益	4,502	4.0	4,923	4.1	109.4	104.8

2. 2017年5月期 第2四半期のBS(連結)

(単位: 百万円)

主な増減要因

	2016.5期末 (連結)	2016.11末 (連結)	増減
資産合計	99,334	103,356	+ 4,021
流動資産	60,879	63,377	+ 2,497
固定資産	38,455	39,979	+ 1,523
負債合計	45,749	45,758	+ 8
流動負債	41,760	41,625	▲ 135
固定負債	3,989	4,133	+ 144
純資産合計	53,585	57,598	+ 4,013
負債・純資産 合計	99,334	103,356	+ 4,021

資産合計

- ・現金及び現金同等物 +1,613百万円
- ・商品 + 781百万円
- ・新店の出店等による固定資産 +1,523百万円

負債合計

- ・未払法人税等 ▲315百万円
- ・ポイント引当金 +110百万円
- ・資産除去債務 他 +202百万円

純資産合計

- ・配当金支払 948百万円
- ・四半期純利益 4,923百万円計上

3. 2017年5月期 第2四半期累計のCF(連結)

(単位:百万円)

	2015.11末 (連結)	2016.11末 (連結)	増減
営業活動による キャッシュフロー	5,122	5,216	+ 94
投資活動による キャッシュフロー	▲1,874	▲2,654	▲780
財務活動による キャッシュフロー	▲737	▲948	▲210
現金及び現金同等物 の増加額	2,509	1,613	▲896
現金及び現金同等物 の期首残高	20,268	26,354	+ 6,085
現金及び現金同等物 の期末残高	22,778	27,967	+ 5,189

主な内訳

- ・税引前四半期純利益 7,246百万円
- ・減価償却費 1,374百万円
- ・法人税等支払額 ▲3,642百万円

- ・出店・改装による有形固定資産の取得 ▲1,813百万円
- ・建設協力金貸付 ▲218百万円
- ・出店仮勘定 ▲1,007百万円

- ・配当金支払 ▲948百万円

事業会社の実績

1.2017年5月期 第2四半期累計のPL (クリエイトエス・ディー)

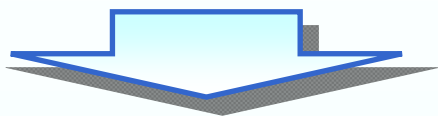
	2016.5期 第2四半期累計 実績		2017.5期 第2四半期累計 実績			
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)
売 上 高	112,860	100.0	120,616	100.0	106.9	100.1
売 上 総 利 益	30,904	27.4	33,399	27.7	108.1	101.3
販 売 管 理 費	24,453	21.7	26,662	22.1	109.0	101.0
営 業 利 益	6,450	5.7	6,736	5.6	104.4	102.5
経 常 利 益	6,647	5.9	6,886	5.7	103.6	102.6
四半期純利益	4,313	3.8	4,678	3.9	108.5	104.5

2. 出店

新店 OTC 14店舗 調剤薬局 6店舗 (併設薬局 5店舗・専門薬局 1店舗)

地域別出店状況

		神奈川	東京	静岡	千葉	その他	合計
2017.5期 2Q累計 出店数	OTC	12	1	1	0	0	14
	併設薬局	4	0	1	0	0	5
	専門薬局	1	0	0	0	0	1



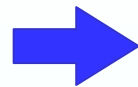
退店 OTC:スクラップ&ビルド 1店舗
併設薬局:移設による閉鎖 1店舗

		神奈川	東京	静岡	千葉	その他	合計
2017.5期 2Q 期末 店舗数	OTC	274	81	67	25	37	484
	併設薬局	70	19	13	3	10	115
	併設率	25.5%	23.5%	19.4%	12.0%	27.0%	23.8%
	専門薬局	20	7	0	3	2	32

3. 顧客ニーズに合わせた品揃えと機能の追加

利便性を高めるとともに調剤機能を追加することにより
小商圈や自社競合の中でも個店の収益力を強化

既存店改装 12店舗



前期からの累計で18店舗

- ・購買頻度の高い食料品の新規導入および拡大
- ・ビューティ売場の刷新
- ・バラエティ雑貨の展開
- ・調剤薬局の併設



来店頻度が上昇し、売上・客数・処方箋枚数が増加

4. 売上高

前期比 **106.9%**(計画比 **100.1%**) 既存店前期比 **101.5%**と堅調に推移

OTC 全店 **106.6%**(計画比 **100.4%**) 既存店 **101.1%**

既存店客数 100.0%

ドミナント形成による自社競合の中でも顧客ニーズに合わせた品揃えの拡充とEDLP施策により来店頻度が上昇し、客数を維持

既存店客単価 101.1%

価格の見直しと高付加価値品による単価上昇が8月で一巡
10月、11月の風邪関連、カイロ等の季節品が好調だったことが牽引

調剤 全店 **109.8%**(計画比 **96.0%**) 既存店 **106.7%**

診療報酬改定の影響が大きく、計画よりも処方せん単価がダウン
前期比109.8%と全体の売上高を底上げしたものの、計画未達となった

5. 部門別 売上高

専門性の調剤と利便性の食料品が牽引

	2016.5期 第2四半期累計 実績			2017.5期 第2四半期累計 実績		
	売上高 ＜百万円＞	構成比 (%)	前期比 (%)	売上高 ＜百万円＞	構成比 (%)	前期比 (%)
医 薬 品	25,992	23.0	111.8	27,747	23.0	106.7
○ T C	18,104	16.0	106.3	19,082	15.8	105.4
調 剤	7,888	7.0	127.0	8,664	7.2	109.8
化 粧 品	16,813	14.9	106.1	17,852	14.8	106.2
食 料 品	43,392	38.4	109.3	46,739	38.8	107.7
日用雑貨品	19,926	17.7	106.0	21,196	17.6	106.4
そ の 他	6,735	6.0	108.7	7,080	5.8	105.1
合 計	112,860	100.0	108.7	120,616	100.0	106.9

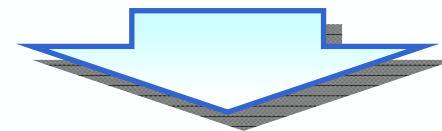
6. 調剤部門

売上高前期比 **109.8%** 処方せん枚数前期比 **112.3%**

	2017.5期第2四半期累計 実績		
	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	8,664	100.0	109.8
売上総利益	3,481	40.2	110.0

診療報酬改定の売上高影響 ▲ 7pt

- ・薬価の減額
- ・後発医薬品の加算の減少
- ・基準調剤加算の減少



- ・後発医薬品使用率の改善(数量ベース)

前期末65.4% ⇒ 上期末実績で**68.5%**

- ・基準調剤加算取得の取組み

改定により 56店舗から2店舗に減少 ⇒ 上期**19店舗**で取得

個人在宅対応店舗数の拡大 前期末25店舗 ⇒ **34店舗**で対応

調剤薬局での健康相談会の実施 前期末26店舗 ⇒ **46店舗**で実施

7. 売上総利益率

売上総利益率 27.7% 前期差 +0.3pt

OTC売上総利益率の改善 +0.1pt

- ・殺虫剤、風邪関連、カイロ等の**季節品の販売数の増加**
- ・高付加価値品の展開による荒利ミックス
- ・特売チラシの実施店舗数を見直し、EDLPによる荒利コントロール

納価改善による増加 +0.1pt

カテゴリーごとの棚割りの見直しと単品ごとの納価交渉

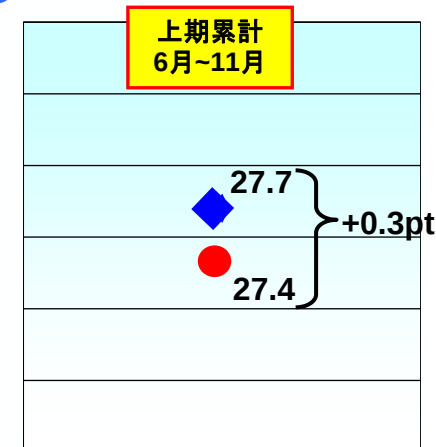
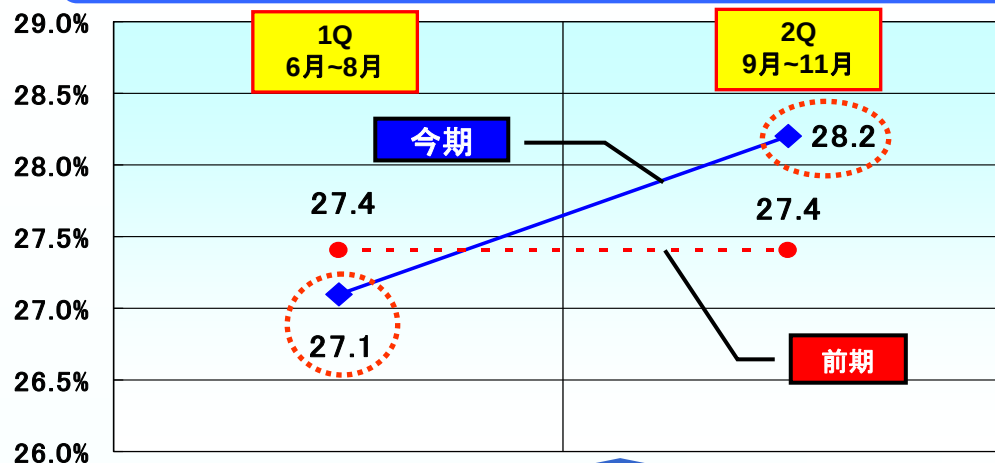
調剤部門の伸長による改善 +0.1pt

専門性の**調剤売上構成比**が高まり売上総利益率を改善

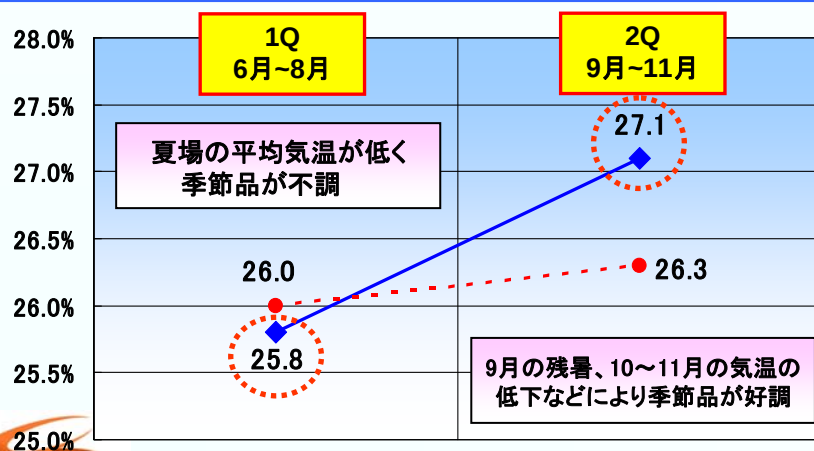
7. 売上総利益率

売上総利益率 四半期別 前期比較

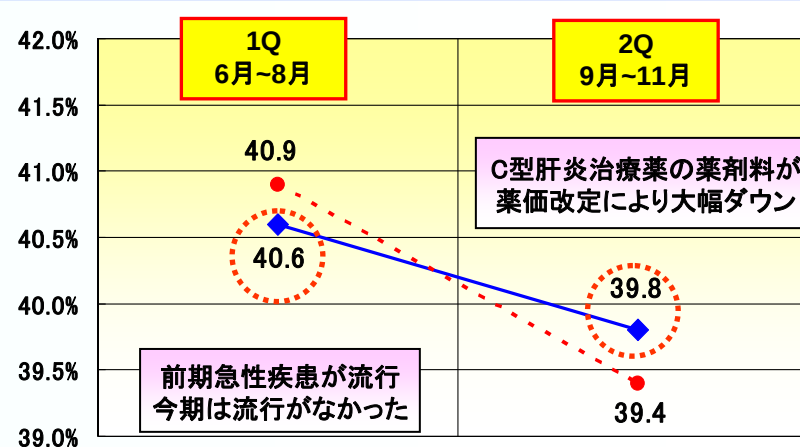
全体 上期累計 27.7%(前期27.4%) 前期差+0.3pt



OTC 上期累計 26.4%(前期26.2%) 前期差+0.2pt



調剤 上期累計 40.2%(前期40.1%) 前期差+0.1pt



8. 販管費率

販管費率 22.1% 前期差 +0.4pt

人件費 ⇒ +0.5pt

- ・既存従業員の昇給および各種手当を見直したことによる増加
- ・勤務形態の変更や新規採用時の時間給の上昇

水道光熱費 ⇒ ▲0.1pt

- ・店内照明のLED化や節電対策による電気使用量の削減
- ・原油安による燃料費単価の低減

広告宣伝費 ⇒ ▲0.1pt

単品ごとのEDLP施策の推進およびチラシ実施店舗数の見直し

9. 生産性向上の取組み

アシスト発注の拡大による効率化

- ・導入店舗の拡大
一部新店を除く**全店に導入完了**(導入率98%)
- ・導入部門の拡大
フーズ部門 前期末192店舗 ⇒ 11月末時点 399店舗
その他部門 前期末380店舗 ⇒ 11月末時点 全店導入

物流体制の整備

- ・新たな品揃えに合わせた**配送方法の見直しによる効率化**
- ・チルド物流体制の強化

10. 介護関連事業

有料老人ホーム事業

- ・営業力強化による入居率の改善

施設別入居率 東京 前期末 71.4% ⇒ 11月末 **78.6%**

八王子 前期末 70.0% ⇒ 11月末 **71.7%**

デイサービス事業

- ・既存施設の収益力改善に注力

16人定員制への転換 前期末 13施設 ⇒ 11月末 **16施設**

稼働率の向上 前期末 73% ⇒ 11月末 **75%**

マシントレーニングとマッサージの**混合型の導入**推進

認知症予防トレーニングプログラムの導入

下期の取組み

1. 出店

OTC出店

上期 14店舗 下期 **26店舗** 通期 **40店舗**の見込み

- ・神奈川を中心に東京・千葉・静岡に出店予定
- ・顧客ニーズに合わせた品揃えの推進

調剤出店

上期 6店舗 下期 **12店舗** 通期 **18店舗**の見込み
(併設薬局 16店舗 専門薬局 2店舗)

- ・周辺医療機関の配置や院内処方医院の院外化に合わせ医療機関と連携した**収益性の高い薬局**を中心に出店
- ・品揃えを追加した店舗への併設

2. 顧客ニーズに合わせた品揃えと機能の追加

顧客ニーズに合わせた品揃えの追加による利便性と
専門性の調剤との連携を継続して推進していく

OTC改装 上期 12店舗 下期 11店舗
当初計画 30店舗 ⇒ 通期 23店舗の見込み

- ・購買頻度の高い食料品の拡充
- ・ショッピングセンター内でのビューティ強化
- ・バラエティ雑貨の展開
- ・お酒、たばこなどの嗜好性の高い商品の拡充
- ・POSAカードの新規導入

3. 生産性向上の取組み

新たな品揃えに合わせた取組み

- ・物流体制の整備
店舗直送品の配送方法の見直し
各センターの配送店舗の組み換えによる効率化
- ・店舗オペレーションの改善
売場効率の見直しによるロス率の低減
納品方法変更による品出し効率の改善
生鮮食品に対応したシステムの構築

調剤薬局での取組み

- ・調剤薬の在庫コントロール
物流センターを活用し、個店ごとの在庫を適正化
- ・ジェネリック医薬品の集約による在庫効率と荒利の改善

4. 調剤薬局の取組み

診療報酬改定への対応

後発医薬品の使用率向上

医療機関への提案や患者さまの声掛けによる改善
⇒使用率目標 **75%**へ修正(当初計画 70%)

基準調剤加算の取得

個人在宅対応薬局の拡大
調剤薬局での健康相談会の実施店舗数の拡大
⇒下期 13店舗取得 通期**32店舗**で取得(当初計画 20店舗)

5. 2017年5月期の計画(連結)

	2016.5期 (連結実績)		2017.5期 (連結計画)		
	<百万円>	構成比 (%)	<百万円>	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	231,892	100.0	247,700	100.0	106.8
売上総利益	63,423	27.4	67,730	27.3	106.8
販売管理費	49,469	21.3	53,030	21.4	107.2
営業利益	13,954	6.0	14,700	5.9	105.3
経常利益	14,314	6.2	15,000	6.1	104.8
当期純利益	9,274	4.0	9,700	3.9	104.6